

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	ケアプランは利用者や家族の意向を踏まえ作成しているが、利用者ごとに個別で具体的なケアプランとなっていない。また、介護記録も日々の時間毎の記録となっており、ケアプランに沿った記録が出来ていない。	・アセスメントの充実を図り、個々のニーズに沿ったケアプランの作成をする。 ・ケアプランに沿った記録を心がけ、モニタリングの根拠となるものにする。	・本人や家族から生活歴をしっかりと詳細に聞き取ること。 ・現状に即し、具体的内容且つ実践可能なケアプランの作成をする。 ・ケアプランに沿った記録の徹底 援助内容の実施、その時の状況について記録し無駄な記録は省く。	6ヶ月
2	4	2ヶ月に一度の運営推進介護を行っているが、イベント等の開催を実施出来ていない。	2ヶ月に一度、テーマを決めて、参加者を増やし多くの意見を聞き、活気のあるグループホームにしたい。	ボランティアの方々に参加していただき、イベントの企画、夏まつり等の参加を募る。	6ヶ月
3	12	従業員の努力や勤務状況を踏まえ、相談・希望・意向等を話し合っているが、向上心を持って勤務できるように職場環境を考える。	スタッフ全員が向上心を持って勤務できるように環境をつくる。	研修の事前情報をもとに個人の参加希望も考慮し勤務シフトを作成する。	6ヶ月
4	38	外出(買い物・散歩)の頻度、その費やす時間が少ない。	一人に対しての費やす時間を増やしていく。	入所者に対して、スタッフがマン・ツー・マンで対応して外出の機会を増やす。	2ヶ月
5	18	ADLの低下、認知症の進行に伴い、暮らしの中での役割が果たし難しくなっている利用者に対する接し方。	現状の利用者ごとの「今」の状況を理解して、出来る事を探しスタッフとともに行っていく。	施設全体(通所介護・訪問介護・グループホーム)としてイベント等の企画検討会を開催し、早期実施に向けて具体策を練る。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。